

# 渦の音クラブたより(2010年9月号)

事務局長: 賀川浩一(昭54年卒)、事務局: 三橋浩志・稔子(昭59年卒)

HP: <http://uzunooto.jp/> メール: [info@uzunooto.jp](mailto:info@uzunooto.jp)

郵便: 〒142-0061 東京都品川区小山台 2-5-5-407、ファックス: 03-3716-4220

## 1. 今年の「渦の音クラブの集い」は11月14日(日)に開催

今年の「渦の音クラブの集い(総会&懇親会)」は、以下の通り開催されます。同封の案内をご覧の上、振替用紙にて参加費をお支払いのうえ、ふるってご参加下さい。

### ◆第35回渦の音クラブの集い◆

日時: 2010年11月14日(日) 12時より

次第(予定):

12:00-12:20 総会

12:20-13:20 講演会

13:30-15:30 懇親会

会場: ホテル・ニューオオタニ(紀尾井町) レストラン: ガンシップ

(講師)

阿部 聡 氏(脳神経外科医) <城南高昭和51年卒>

主な著書:

「イライラ脳の人たち」、「愛されて幸せになる「恋愛脳」の作り方」、日本テレビの「おもいきりテレビ」等にも出演(クリニックのHP) <http://amc.ms/info1/index.shtml>

幹事学年: 昭和56年卒&昭和57年卒

今年も竹内雅男様(昭和54年卒)にはバンド演奏をお願いしております。楽しみです!!

## 2. 昨年の「渦の音クラブの集い」の様子

既にホームページ等でご報告済ですが、昨年の「第34回 渦の音クラブの集い」についてご報告します。原稿は昨年度幹事学年の高下さん(昭55年卒)にお願いしました(写真は幹事学年撮影)。

### (1)総会

田尻事務局長(昭35卒)の司会で始まった総会【写真1】は、今回が会長としては最後となる福永会長(昭35卒)の挨拶【写真2】、船越会計理事(昭48卒)の会計報告、新たに就任した澤田新会長(昭49卒)の挨拶【写真3】と続きます。



引き続き、3名の来賓の方々からご挨拶をいただき、城南高校の岡田校長先生からは、母校の新校舎の完成(平 22 年 4 月落成記念式典)や生徒の文武両道にわたる活動状況の報告、城南高校同窓会の坂野事務局長【写真 4】からは本部同窓会の活動状況報告と新しい歴史館への同窓会としての取組状況の報告、徳島県庁東京事務所の利穂係長(昭62卒)【写真5】からは郷里徳島の現況報告と、ふるさと納税についての説明がありました。尚、県事務所からは、参加者へのお土産として徳島の名産品に加え、懇親会での料理の差し入れを頂戴し、会員一同ふるさとの味を堪能させていただきました。

### (2)講演会

アジアを代表する作曲家である三木稔先生(昭 22 年卒)が、2009 年 6 月に日本人初の福岡アジア文化賞 芸術・文化賞を受賞されたので、これを記念して講演をいただきました【写真 6】。

新事務局長に就任した賀川さん(昭 54 卒)の講師紹介を受けて始まったご講演は、三木先生の戦中・戦後の思い、日本史オペラ9連作作曲に関わる逸話、日本の文化政策に対する思い等多岐にわたり、ご高齢のものともせず創作活動に邁進する先生の姿に、多くの方が感銘を受けました。



### (3)懇親会

幹事学年の荒木さん(昭 55 卒)の司会で始まった懇親会は、冒頭、当日も休日返上で「事業仕分け」の真っ只中にありながら時間を割いて駆けつけていただいた仙谷由人行政刷新担当大臣〔当時、現・官房長官〕(昭 39 卒)に、ご挨拶と乾杯のご発声をいただきました【写真 7】。仙谷大臣は総会開始時から出席され、懇親会も時間の許す限り会員との懇親を深めていただきました【写真 8】。新政権の中枢にあつて数々の政策課題に正面から取組む大臣の姿勢に、元気を頂戴したように感じたひと時でした。

食事も進んだところで、竹内さん(昭 54 卒)【写真 9】率いる「リーサラ・スペシャル・ビッグバンド」によるジャズの演奏が始まり、会場はますます和やかな雰囲気へ・・・【写真 10】【写真 11】。



宴たけなわとなったところで、ミニファイヤーストームへ移り旧制高校寮歌などを大合唱、最後に「城南高校校歌」と三木先生作曲の「徳島県民の歌」を斉唱しました【写真 12】。

時間の経つのはあっという間で、クロージングとして新旧学年幹事の挨拶となり、今年度幹事の昭 55

卒を代表して高下幹事、次年度幹事の昭56&57卒を代表して桜井幹事が挨拶をおこない【写真13】、全ての日程を終了しました。



尚、会場の同フロアには、二次会用の会場が数箇所用意してあり、福永前会長、田尻前事務局長の同期昭35卒は徳島・関西からの遠征軍を含め総勢30名で大いに盛り上がった様子です。幹事学年の昭55卒も久々に旧交を温めました。なお、後日「渦の音クラブ」の開催は徳島新聞でもニュースとして掲載され、東京での同窓の集いが故郷徳島でも報道されております。

### 3. 城南高校の校舎改築が完成しました

城南高校の校舎改築が完成し、4月20日には記念式典が開催されました。校門前も整備されており、同窓会本部とともに母校の歴史を展示する「渦の音記念館」も整備されているようです。城南高校のHPをもとに、新校舎の様子を紹介します。(写真は全て城南高校HPより引用)

#### 改装なった新校舎と記念式典の様子



#### 渦の音記念館とパンフレット



#### 4. 母校、故郷のための支援・協力をお願い

##### (1) 渦の音クラブによる母校部活動への支援

渦の音クラブでは、全国大会で上京した母校の部活動に支援を行っています(「春高バレー」への支援など)。渦の音クラブの会費は、支援金の原資となっておりますので、会費の納入を宜しく願います。

##### (2) 城南高校後援会による母校部活動への支援

城南高校では各種部活動への支援を行う「城南高校後援会」が平成 13 年に発足し、PTA である松柏会、同窓生の交流を図る同窓会と連携して部活動への支援活動を行っています。後援会のホームページがこの7月にリニューアル(同窓会本部の HP も同居しています)しました。インターハイへの遠征支援などを行っている「城南高校後援会」へのご協力をよろしく願います(支援金の振り込み方法などの詳細は城南高校後援会の HP をご覧下さい)。

##### (3) 「ふるさと納税」による故郷徳島への支援

故郷徳島への支援を行う「ふるさと納税」制度も既に3年目を迎えました。徳島県のふるさと納税額は全国でも上位であり、徳島県人の故郷への「熱い思い」が伺えます。「ふるさと納税」は、徳島県等に郵便振り込み等で寄付金を振り込み、その寄附金のうち一定の額(所得により3,800円～4,850円)を超える部分については、住民税の概ね1割を上限として所得税と合わせて控除されます。また、徳島県の場合は、広報誌「OURとくしま」1年分(年8回)、特産品のすだち、県立施設(近代美術館、文学書道館、渦の道など)ペア招待券などがお礼として送られるそうです。徳島県庁の HP で詳細が掲載されていますので、ご覧下さい。また、「渦の音クラブの集い」でもふるさと納税のパンフレットをお渡ししますので、ご協力宜しく願います。

#### 5. 事務局変更のお知らせ

渦の音クラブの事務局は、設立当初は役員の中の篤志の方に勤務先の施設およびスタッフを提供して頂き運営していました。しかし、コーポレート・ガバナンス面から事務局を企業や個人事務所をお願いすることが困難になり、2年前から田尻さんの自宅を事務局としてきました。しかし、事務局が田尻さん宅に移って以降も、生田副会長のご厚意により生田事務所で各種事務手続き(各種電話連絡、会計処理など)を継続してお願いしておりましたが、今般、生田事務所で保管頂いていた書類など(段ボール8箱以上!)を全て三橋宅に引っ越しさせ、事務局業務を一元化することにしました。

個人宅での事務局となる関係で、至らない点多々ありますこと御容赦下さい(個人宅のため連絡がメール、fax、郵便中心になります)。また、田尻さんが道筋をつけて下さったホームページの更新頻度を高めることで、同窓生のみならずとの連絡を密にしたいと考えております。発行が途絶えておりました「会報」には及びませんが、「渦の音クラブたより」として会員の皆様に母校の情報等を提供するよう努めたいと思いますので、ご支援、ご協力のほど、宜しく願い申し上げます。

これまで渦の音クラブの事務局を支えて下さった田尻さん(前・事務局長)、生田事務所の長瀬さん、本当に有り難うございました。

なお、前・会長の福永哲夫氏(昭 35 卒:鹿屋体育大学学長)が 2010 年 6 月に日本体育協会より「第 13 回秩父宮スポーツ医・科学賞 功労賞」を授与されております。心よりお慶び申し上げます。

事務局:三橋浩志・稔子(昭和 59 年卒) 発行:2010 年 9 月 10 日